

教育目標「キラリ、桃里に輝く上保原っ子」

平成25年10月11日

桃

里

伊達市立上保原小学校長 亀岡和美

児童数 1年30名 2年32名 3年34名 4年40名 5年31名 6年55名 計225名

～ 学習発表会お待ちしております ～

あんなに暑かった毎日が嘘のように、朝晩めっきり涼しく（寒く）なりました。日中はまだまだ暑く半袖でもいいと思えるのですが、午後3時を過ぎると急に涼しくなってきました。そのせいでしょうか、風邪、腹痛、気分不快等での欠席が見られます。気温差が大きくなると体調に変化をきたすことが多くなります。十分な栄養・休養と天候によって衣服の調節をすることなどに留意させたいと思います。ご家庭でのご配慮をお願いいたします。

学校では、10月26日実施予定の学習発表会に向けての取組が各学年始まりました。学習発表会とはその名の通り「今までの学習の成果を発表する会」です。自分たちが家族に、地域の方々に「伝えたいことを伝えるように伝える」ことがねらいです。一人一人の役割を自覚し、生き生きと発表してほしいと願っています。応援をよろしくをお願いいたします。

～ 行事を通して育つ ～

10月9日(水)に信夫ヶ丘陸上競技場において「伊達市陸上記録会」が実施されました。台風24号が近づいており実施が心配されました。時折強い風が吹きましましたが、雨は降ることなく、全種目無事に行われました。本校からは、6年生55名が参加しました。6年生にとって大きな位置を占める行事です。練習は2学期明けから取り組み始め指導をしてきました。

6年生は、胸を張り堂々とした態度で陸上記録会に臨みました。応援にも一生懸命でした。今までの取り組みの成果だと感じました。練習の始まり終わりには「お願いします」「ありがとうございました」と大きな声であいさつをする素晴らしい学年でした。このような姿を下学年の子どもたちも心に刻んでいることと思います。

9月20日(木)～22日(土)までの2泊3日、5年生の宿泊学習を会津自然の家で実施しました。今回は、グループでの活動中心で、自分たちで考え協力し合い活動することが多くありました。初めての体験でうまくいかないこともありましたが、男女仲よく活動している姿をみてとてもうれしく思いました。ナイトハイクやキャンプファイヤー、野外炊飯等の経験をしてきました。帰校のあいさつの中でも様々な経験を通して友だちと協力することの大切さを学んだとの発表がありました。一回り大きくなった5年生に見えました。

子ども達は様々な活動を通して、学び合います。友だちと、協力し合い、励まし合い、鍛え合います。そのためには、苦しいこと・面倒くさいこと・我慢しなければならぬことが必ず出てきます。しかし、1つ1つのことに真摯に向き合い一生懸命努力することで自分のもっている能力を引き出し高めていくことができるのだと信じています。

～ バザー・古紙回収ありがとうございました ～

お陰様で、たくさんの収益を上げることができました。また、地区の方々の中には、大量の段ボールを業者に直接搬入してくださり、その代金をPTAにご寄付くださるといふ方もおいでになりました。有り難いことです。ご協力ありがとうございました。子ども達のために大切に使用させていただきます。詳細についてはPTA広報誌等でお知らせいたします。

～ 多読のススメ ～

10月27日から11月9日までは読書週間になっています。

先日の全校集会で「多読（たどく）のススメ」の話をしました。今年度の本校6年生の全国学力学習調査読書調査によると、一日の読書時間は10分以下の児童が多くいることが分かりました。これは、全校的にみても同様の傾向がみられるものと思います。読書は感性を豊かにし、集中力を高め、語彙を増やし・・・とその効果が多く認められています。朝読（朝の10分間読書）は、本校でも取り入れているところですが、そのことが普段の読書とどのように結び付けていくかが課題の一つです。家庭において読書はどのような位置付けになっているのでしょうか。手軽に、しかもたくさん本を読むようにするために環境を整えてあげることも大切なことです。下記にその手だての例を紹介します。



記

- 1 みんなが集まる部屋（場所）に本棚を置く
今読んでいる本、読ませたい本、地図帳、各種辞典（事典）等々
- 2 大人も本を読んだり、新聞や地図帳、辞典（事典）の活用をしたりする
知らない言葉がニュースや会話に出てきたらすぐ調べる（読み方、書き方、意味、場所、内容等々）
- 3 図書館を利用する
市の図書館等でじっくり本を選ぶ。ベストセラー作家の本等もそろえてあり図書館司書の方に本の相談もできる。
- 4 読み聞かせをする
全部でなくてもよい。始まりの部分だけを読んであげると、興味を示すことがある。映画の予告編と同じ効果があるといわれている。
- 5 映画（話題）が先か、本が先か
映画やテレビドラマ、ゲーム等からとった小説・物語などの原作が出版されているので、活字が苦手な場合には、映像が先でもよい。
- 6 本に関する話題を取り上げる
「今、話題になっている本」「ベストセラー」「新聞でオススメしている本」「自分が読んで面白かった本」等々について、食卓の話題にする。もちろん、お子さんが今読んでいる本についての内容を話してもらうのもよい。たまにはその本をお家の人も読み、感想を述べ合うようにする。

最終的には、何のために読むのか・・・本が好きだから読むのが一番ですよね。そのためには、お父さん・お母さんが本好きになることが一番ではないかと思えます。一日10分、一週間で60分前後の時間が読書の時間であればよいと思えます。

保護者の方からは、大きい活字の本を読みたがる、学年不相応な本で困る・・・等々の意見をよく聞きます。字の大きさと本の内容は必ずしも同じではありません。どうぞ、お子さんの読んでいる本の評価をせず、感想をお話ししてください。感想はその本を読まないと言えません。お子さんの読んでいる本をお父さんやお母さんが読み、思いを共有することが大事なのです。